

科目区分：総合科学科目

授業科目名	放射能の光と影				学期	曜日	校時
英語名	Radioactivity influence on the human society						
担当 教官名	冨塚 明	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日 1校時
担 当 教 官 名							
戸田 清 (環境)、 冨塚 明 (環境)、 上谷 雅孝 (医歯薬)、 吉川 勲 (環境)、 三根 眞理子 (医歯薬)、 渡邊 正己 (医歯薬)							
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
放射能が発見されて100年以上が過ぎた。その間に核エネルギーの発見がなされ、60年ほど前に原子爆弾として実用化された。これを契機として「放射能」の存在は人間社会に様々な問題を投げかけることになった。この講義では自然現象として存在する「放射能」について、科学的知識を身につけると同時に、それが社会に及ぼしている「光と影」の現実をとらえることを目的とする。							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
教科書は使用しない。 適宜、プリントの配付をする。 参考図書： 安斎育郎「放射能 そこが知りたい」かもがわ出版、 土井和巳「そこが知りたい放射性廃棄物」日刊工業新聞社							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	毎回提出する「講義概要」、教官を指定して提出する「最終レポート」による総合評価。(配点はそれぞれ70点と30点)						
授 業 計 画							
第1回 (10月6日) オリエンテーション (冨塚) 第2回 (10月13日) 原子力開発と社会的格差 (戸田) 第3回 (10月20日) 放射能の物理 (冨塚) 第4回 (10月27日) 放射能の医療への応用 (上谷) 第5回 (11月10日) 放射能の医療への応用 (上谷) 第6回 (11月17日) 放射能の線量限度とリスクの最適化 (吉川) 第7回 (11月24日) 核エネルギーの利用と核兵器開発 (冨塚) 第8回 (12月1日) 放射能の人体への影響 (三根) 第9回 (12月8日) 原爆後障害 (三根) 第10回 (12月15日) 原子力発電のしくみ (冨塚) 第11回 (12月22日) 核燃料サイクルと放射性廃棄物 (冨塚) 第12回 (1月12日) チェルノブイリで起きたこと (三根) 第13回 (1月19日) 原子力と人間 (渡邊) 第14回 (1月26日) 原子力と人間 (渡邊)							
質問受付時間：水曜日 校時 冨塚教官室							